

会員一人ひとりが主人公！ おもちゃ図書館 TOYTOY

栃木県壬生町

おもちゃ図書館 TOYTOY



壬生町初のおもちゃ図書館登場！

令和4年10月、親のための居場所として、有志により設立しました。障がいの有無にかかわらず全ての子どもがおもちゃ遊びを通して、楽しみながら成長する場を目指しています。特に障がい児支援の学びや環境整備を行いました。会場は社会福祉法人施設の地域交流センター。法人のご理解とご協力とで安心安全に無料で開催することができますが、毎回おもちゃを運び入れての開設準備となります。

開催日の参加者は、親子あわせて50名前後。毎年保育園や子ども園に配布するリーフレットやInstagramや公式ライン、さらに栃木県連で作成したリーフレットをご覧になっての参加です。

参加した時にはスタンプカードに印を押しますが、カードがすべて埋まりプレゼントをもらう子が増えています。会場では赤ちゃんを安心して寝かせる環境がありますので、出産後も引き続き参加できますし、最近ではパパとお子さんの参加も多く、とてもにぎわっています。

パパ・ママはSNS！

これまでの広報はチラシ・ポスターがメインでしたが、現代の保護者はSNSがメインの情報収集手段のようです。導入に苦労がありましたが、学生スタッフのスマホ操作指導も功を奏し、何とか定期的な発信が出来るようになりました。更に、デザイン作成（SNS投稿・紙のチラシ編集）に長けているボランティアが協力を申し出て下さり、SNS・チラシいずれも、デザインが明るく見やすくなっています。



学生スタッフによるスマホ指導

まるでファミリー！信頼関係が継続を生む

元教員・保育士・民生委員・議員などが正会員。正会員の家族である学生がボランティア会員。年齢や性別、経験値が様々なメンバーで構成されていま

す。誰ひとり欠けてはならない存在であり、設立期から退会した会員はおりません。



参加者を歓迎するウェルカムボード

喧々譁々、みんな納得で前へ進む

おもちゃ図書館自体どのようなものか？設立当初手探り状態でしたが、設立準備に時間をかけ打ち合わせました。また、設立後も、毎回ふりかえりの時間をたっぷり取り、イベントの企画、来場者への対応、感染症対策など、学生も交えて、意見を出し合っています。

助成・支援制度の活用に躊躇なく

公共・民間問わず運営補助を受けておりません。

歳入のほとんどが会員の年会費であり、新たな事業や季節の行事、人気のおもちゃ購入費は自主的に確保しなければなりません。おもちゃ図書館財助成事業はもとより、地元行政や民間企業の助成事業の情報を積極的に入手し、申請をおこなっています。これによって、活動の活性化や会計の適正な処理にも寄与しています。

これまで、こんな取り組みの経過がありました。

【問題発生】来場者年齢が幅広くなり、また貸し出しのしくみが周知され、人気のおもちゃが不足するようになる。

【分析と課題】設立から年数経過し、おもちゃと保管箱の修繕が増えている。また、電池の価格・活動保険料の値上げなど、予算全体、増額が続いている。人気のおもちゃは高額であり、値上がりもしており、抜本的に歳入、とりわけおもちゃ購入費用を確保する必要性が出てきた。

【対策】財助成事業を始め公共・民間企業の助成事業を活用し、おもちゃ購入費を得ることを目論む。

【経過】複数の助成・補助事業に申請手続きをするも、大半の場合、おもちゃ購入は助成・補助の対象外であると回答を受ける。

【新たな対策】フリーマーケットやイベントの物販・体験ブースなどに来店し、利益を得る。また、各種助成・補助事業の内、プレゼンテーションがあるものを選択し直接訴える機会を持つ。おもちゃの販売価格について、店頭販売、インターネット販売など

で、日頃より幅広く情報収集に努める。

【成果は】壬生町の「ボランティア活動支援事業」に申請。プレゼンテーションを経て、支給決定を受ける。約 10 点のおもちゃ購入が可能となった。

【ふりかえり】物販活動は経費や準備、労力が必要となるが、利益以外に新たな人脈を得るなどの効果もある。今後もおもちゃの購入は見込まれるため、常に取り組む必要がある。公費による運営補助を受けていない、または地域資源（社会奉仕団体等）が乏しい地域での活動者はどのように対応しているのか。今回、問題発生から解決まで約 2 年間経過している。同じような課題解決のために協力しあえる体制が整うことを願っている。



会場の風景



● 代表より一言

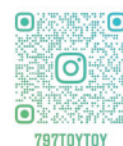
「立ち上げてよかった、喜ばれてうれしかった。」 行政や福祉団体との関りは緩やかで、自由度の高い活動を展開できている。設立から 2 年経過し、信頼を築き上げてきている。障がいに関する相談を受けるなど地域に欠かせない存在となる。会場では短時間の滞在で、おもちゃの貸し出しをメインに利用するなど、成長した子どもも長く関わっている。

（小椋理香子）

場所 栃木県壬生町 セせらぎ会ゆるり

日時 第 3 日曜日 9:30 ～ 12:00

対象 近隣にお住まいの子どもとその家族



Instagram



LINE